

水辺のふるさと かつしか

春号

2019.12 - 2020.2

自然環境レポーター  



写真のタイトル：「オオタカ」

撮影場所：水元公園 金魚展示場付近

写真提供：高橋 雅子さん

目次

- 1 55種の動植物調査結果P 2
- 2 春号イチオシの生きもの!.....P 3
- 3 自由レポートP 4~19
- 4 季節の写真集P 20~21
- 5 魚からの便りP 22~25
- 6 環境課からのお知らせP 26

編集担当のひとこと

4月から自然環境係に異動し、早いもので1年が過ぎました。
レポーターの皆さまには、55種調査報告書及びレポート提出、
研修会への参加等、日ごろからご協力頂きまして誠にありがと
うございます。

新型コロナウイルス等の感染症拡大防止により、様々なイベントや
会議などが中止及び延期となりました。外出後は手洗いをしっかり行
うなど、拡大防止に努め早く収束することを願います。

研修会も今年度は2回中止となり残念ではありましたが、これからも
企画いたしますので是非ご参加ください。

また、来年度も引き続き、55種調査報告書及びレポート、写真等
のご報告をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。



丸山

55種の動植物 調査結果(12月~2月)

【調査区1】 計0種

【調査区2】 計7種

〈鳥類〉 コガモ、コサギ、ツグミ、シジュウカラ
 〈植物〉 シロツメクサ、ジュズダマ、ススキ

【調査区3】 計4種

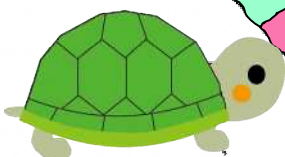
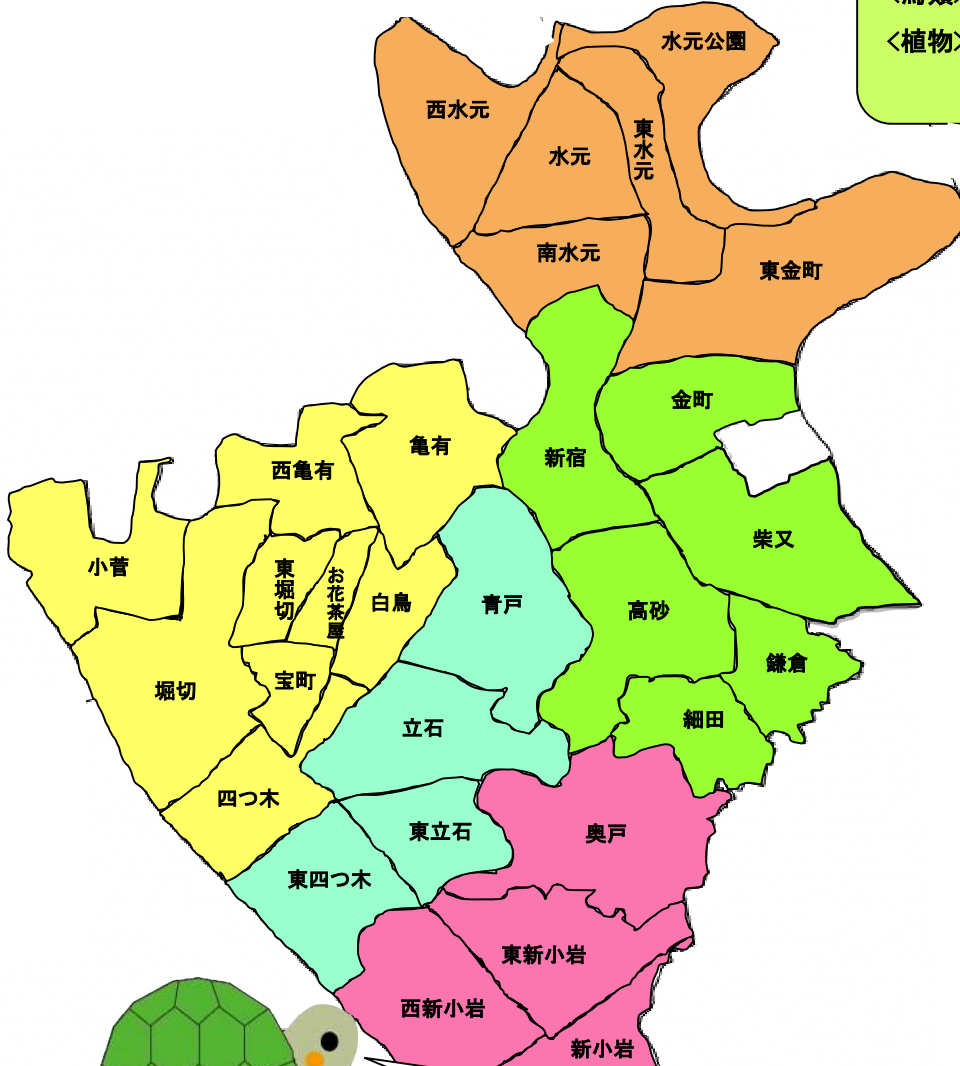
〈昆虫〉 オオカマキリ、
 〈植物〉 スギナ、イモカタバミ、ジュズダマ

【調査区4】 計3種

〈鳥類〉 ツグミ、カワセミ
 〈植物〉 アカメガシワ

【調査区5】 計14種

〈鳥類〉 コガモ、ツグミ、ウグイス、
 コサギ、カワセミ、コゲラ、
 シジュウカラ
 〈昆虫〉 ツマグロヒョウモン
 〈植物〉 シロツメクサ、イモカタバミ、
 セリ、カントウタンポポ、
 ジュズダマ、ススキ



赤字は外来種だよ

レポーターが見つけた

春号イチョシの生きもの!

チョウゲンボウ

語源は不明だが、吉田金彦は、蜻蛉（トンボ）の方言の一つである「ゲンザンボー」が由来ではないかと提唱している。チョウゲンボウが滑空している姿は、下から見るとトンボが飛んでいる姿を彷彿とさせることがあると言われ、それゆえ、「鳥ゲンザンボー」と呼ばれるようになり、いつしかそれが「チョウゲンボウ」という呼称になったと考えられている。

ハトくらいの大きさに全長 30-40 cm。翼を広げると 65 -80 cm になる。体重は雄が 150 g、雌が 190 g 程度である。雌の方が大型である。羽毛は赤褐色で黒斑がある。雄の頭と尾は青灰色。雌は褐色で翼の先が尖っている。「キィキィキィキィ」と聞こえる声で鳴く。

Wikipedia より



上記の写真は、石鍋 壽一さんが撮影された「チョウゲンボウ」です。トンボの方言から「チョウゲンボウ」という呼称になったんですね。飛んでいる姿を見たいです。

氏名	散歩の花子	町名	西新小岩 5	調査区	1-4
----	-------	----	--------	-----	-----

タイトル：外谷汐入庭園の紅梅・白梅



外谷汐入庭園には、紅白一本ずつの梅の木があります。
2月に入り、晴天が続いて、やっと花がチラリ・ホラリ咲き始めました。
鼻を寄せると、甘〜いツンとしたような匂い（私の感じ）がします。

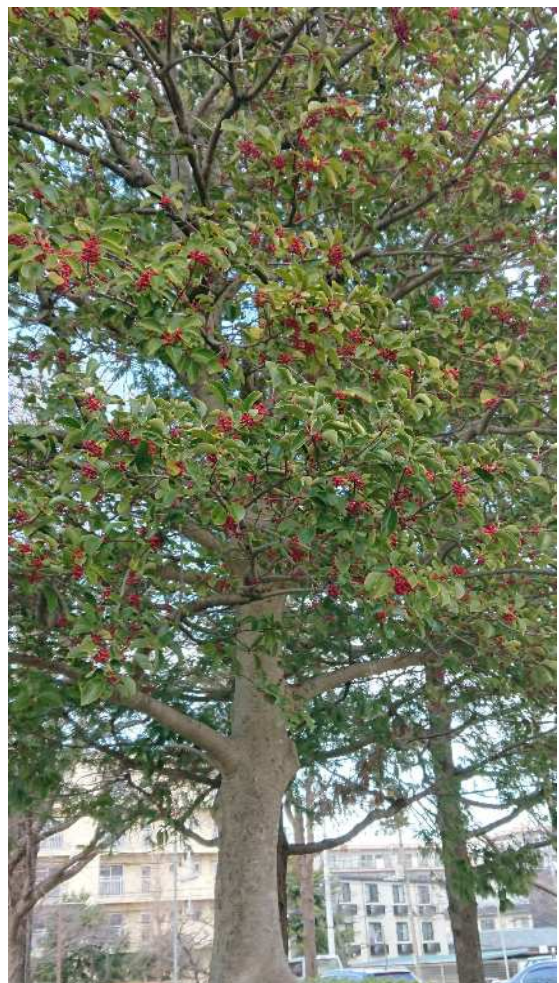
（2月上旬～2月中旬）

氏名	散歩の花子	町名	東四つ木	調査区	2-8
----	-------	----	------	-----	-----

タイトル： おいしそうなクロガネモチ

冬枯れの樹々の中で、クロガネモチの
おいしそうな赤い実が、パッと目を引いています。
常緑なので、緑と赤のコントラストがきれいです。
野鳥たちは、まだ食べに来ていません・・・・・・！

(2月上旬)



氏名	散歩の花子	町名	西新小岩 5	調査区	1-4
----	-------	----	--------	-----	-----

タイトル： ”待っているんだから”

中川左岸緑道の植え込みでは、昨年秋号で紹介したSさんが、
枯草などの掃除をしています。

それをじっと見て、側に近寄って来るのは、ジョウビタキです。

胸のオレンジ色が鮮やかです。

土が掘り返され、虫が出てくるのを待っているのでしょうか . . ! ?

(因みに、Sさんは、葛飾区環境課からチューリップの球根を貰ったと、

大変喜んでいました。 緑道には、もう植えてあるとのこと)



(2月12日撮影)

令和になって初めての正月を迎えた。晴天、厳しい寒さの中で……。

昨年、「水辺のふるさとかつしか」に載せていただいたオーシャンブルーが大晦日にまた蕾を付けたのです。雨降り朝顔ぐらいの小さい蕾です。固い蕾が開くまで数日かかります。我が家では大きな鉢に植えてあります。鉢でさえ育ち、咲くのですから、欲しい方がいらしたら、何かの機会に葉を持参しましょう……。辛抱強く育てると楽しみはさらに大きい。

わが家の門前に在る^{けやき}欒は区の保存樹に指定されている。春は新芽を愛で、夏は木陰を、秋は黄葉をまき散らす。冬はあたりを^{へいげい}睥睨するように見下ろす。もし欒が語れば、どのような様々の歴史を語るだろうか……。何百年は過ぎているから。

落ち葉を集めて腐葉土を作った。糠を足し密封したから春の植え替えに役立つと思うと楽しい。

特筆すべきこと。昨年の紅葉は今まで決して無かった。庭にある紅葉は「青木」という。今までは薄紅で終焉を迎えた。それが深紅で観に来る人は揃ってびっくり。それだけ朝夕とか日替わりで寒暖の差が激しかったことでしょうか……。

謹賀新年 今年もどうぞよろしく。令和2年1月1日

弥生さくら草

鼠年の春

弥生さくら草



今年は今和になって初めて迎える正月という呼び声が高かった。期待感を膨らませた。記録的な暖冬という。水仙は早々と咲き、梅の開花も早かった。梅は寒風の中でも凜凜と咲くというイメージをもっていたのに、正月が過ぎると咲き始め、もう梅の咲く頃だと知らされたくらいだった。花もそうだが野菜が育ち過ぎ消費者には好都合でも、生産者泣かせという声が聴こえた。例年だと立春は暦の上だけで寒さは底なのに今年は暖かな立春だった。

その頃からコロナは話題に上った。中国では十二月初旬頃から流行していたようだが発表が遅れたために世界中に蔓延したのだ。最初はクルーズ船で始まり、これで済むと思ったのが大間違いで今は日に日に陽性患者は増え続けている。不要不急の人は外出を控える。何から何まで今年是非常事態である。いつまで続くのか？今一番の関心事である。

陽光を浴びた花屋の店先を眺める。色とりどりの春の花々が咲いているのを見るのは何よりの楽しみである。我が家の春の文字を付けた椿が鮮やかで癒しに繋がる。何故かクリスマスローズという花は今が盛りである。地植えにすればどんどん増える。コロナは植物には及ばないから花を眺め終焉を待つとしよう。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

12月1日(日)午後2時から4時まで、天気は晴れ(風少し有)、気温は10度くらい。都立水元公園の水辺のいきもの館周辺。今日はESD-KA主催の自然観察会で、講師は佐々木洋先生だ。野鳥は、ヒヨドリ、ムクドリ、ハクセキレイ(2)、オナガ(5)、ヒドリガモ、オオバン(4)、コサギ(2)、カルガモなどを見つけた。虫は、ダンゴムシ、コバネイナゴ(2)、チャバネカメムシなどを見つけた。この時期に、イナゴを見つけたのは初めてだ。植物は、ノビル、アオキなどを見つけた。今秋の台風で倒れたケヤキの大きな切り株も見つけた。真っ赤なイロハモミジも綺麗だった。

12月8日(日)午後2時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は12度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ムクドリ、ヒヨドリを見つけた。植物は、ホトケノザ(開花)、ススキ、ヨシを見つけた。サザンカ、ツバキの花が咲いていた。ミカンの実がなり、イチヨウの葉が落ち始めた。

12月22日(日)午前9時頃、天気は曇り(風なし)、気温は7度くらい。亀有5丁目の見性寺・亀有公園・東部地域病院周辺。野鳥は、ヒヨドリを見つけた。植物は、ツバキ・サザンカの花が咲いていた。ケヤキやハナミズキの葉が落ち、メタセコイヤの葉が茶色に色づいていた。

12月、スペイン・マドリードで開催された国連気候変動枠組み条約第25回締結国会議(COP25)は15日、一部積み残されていた「パリ協定」の実施ルール作りの合意を断念し、来年の次回会合に先送りする決議を採択して閉幕した。深刻な地球温暖化を踏まえ、史上初めて全ての参加国が参加するパリ協定だが、来年始動するパリ協定がうやむやに成りかねない事態となった。会議では、各国が国連に来年再提出する排出削減目標の水準引き上げも焦点だったが、これも採択された決定文書は引き上げを促す表現にとどまった。12月16日付の産経新聞は、【今年発生した世界の異常気象】と題して、欧州では熱波による猛暑(フランス、46度を6月に観測)、アフリカではサイクロンで計960人以上死亡(3月)、インド・パキスタン・ミャンマーでは大雨で計720人以上死亡(8月)、南米では大雨で計90人以上死亡(2月)、中国では地すべりで40人以上死亡(7月)、そして日本では、台風19号で90人以上死亡と報じている。危機は真近に迫っていることを、アメリカも中国も、そして日本もわかっていないようである。また、産経新聞では、「パリ協定締結に尽力したフランスのトゥピアナ元気候担当大使は、英BBC放送に対し『科学によって必要だとされているものからは程遠い結果だ。重要なプレイヤーが期待に応えなかった』とCOP25の会議を批評した」と報じている。

12月20日(金)～21日(土)、ESD推進ネットワーク全国フォーラム2

019が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。主催はESD活動支援センター、文部科学省、環境省で、共催は独立行政法人国立青少年教育振興機構であり、後援は日本ユネスコ国内委員会である。「SDGsを地域で達成していくための人づくり～ESD for 2030を見据えて」をテーマに関係者が集い、討議した。300名近い参加者の中では、教員が多数参加していた。また、タカラトミーをはじめ多くの企業家も参加していた。かつしか子ども食堂ネットワークの方も3名参加していた。私もこの会議に参加して、SDGs・ESD推進の素晴らしさを再認識した。

新しい年を迎えて、SDGsの達成を目指した人づくりを、未来の子どもたちのために頑張る決意をした。(1月1日)

1月1日(水、祝)正午頃、天気は快晴(風少し有)、気温10度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメやムクドリを見つけた。植物は、サザンカやオッタチカタバミの花が咲いていた。穏やかな新年の始まりであった。

1月13日(月、祝)午前10時頃、天気は晴れ(風なし)、気温8度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、キンクロハジロ(2)、ユリカモメ、シジュウカラ(5)、ムクドリ、スズメ、ヒヨドリを見つけた。植物は、ホトケノザを見つけた。ツバキ・サザンカの花が咲いていた。

1月25日(土)午前10時頃、天気は曇り(風なし)、気温は7度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ムクドリ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ(2)を見つけた。植物は、サザンカの花が咲き、オッタチカタバミ・ホトケノザの花も見つけた。ハコベの開花(今年初)も、見つけることができた。昨日の都心の気温は13.4度であり、3月上旬の暖かさであったので、開花したのではないか。1月に入っても、^{みぞれ}曇りが1回程度降るだけで、降雪が見られない。今年も、暖冬のようなようだ。

令和2年となり、新たな気持ちで取り組みを開始した。しかし、気になる新聞記事を見つけた。産経新聞の1月23日付の1面トップに、「中国政府が指摘・新型肺炎 異変・拡散も アジア圏外 米で発症初確認」という見出しがあった。【中国・武漢から広がった新型肺炎の感染・発症が確認された地域と人数】は、米国で1名、中国で440名(死者17名)、タイで4名、マカオで1名、香港で1名、台湾で1名、韓国で1名、日本で1名である。(日本時間22日午後11時半現在)1月25日付の新聞では、「新型肺炎 国内2例目 中国団体旅行台湾、中止を通知」「中国死者26人、発症887人」「(日本の)外務省 湖北省に渡航中止勧告」というトップ見出しで伝えている。産経新聞では、「日本国内で2例目の感染者が確認された新型コロナウイルスによる肺炎。自

己申告に頼らざるを得ない検査での水際対策は万全ではなく、今後も患者のある程度の発生は避けられない。」と伝えている。私たちができることは、インフルエンザ感染予防対策と同じである。地味な対策が自らと子どもたちの命が救われることになるので、しっかりと対策を実行したい。(1月25日)

2月2日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は10度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、オオバン(5)、キンクロハジロ(4)、ハクセキレイ(2)、ムクドリを見つけた。植物は、ツバキ、サザンカを見つけた。

2月11日(火、祝)午前11時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は10度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメを見つけた。植物は、オッタチカタバミ、タネツケバナ、ハコベを見つけた。

2月23日(日、祝)正午頃、天気は晴れ(風あり)、気温は14度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、オオバン(2)、スズメ、ムクドリを見つけた。植物は、オッタチカタバミ、イモカタバミ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ(3)、オオイヌノフグリ、セイヨウタンポポ(2)を見つけた。

2月は、9日(日)に生涯学習課主催の「叩かない・どならない子育て」講演会を受講した。講師は高祖常子さんで、子育てアドバイザーだった。若いお父さんやお母さん対象の講座だったが、今年4月施行の改正児童虐待防止法の内容を取り込んでいたので、とても参考になった。(実は、高祖さんのお子さんは、私の教え子だったので、興味をもった)また、16日(日)に生涯学習課主催、かつしかこども食堂ネット共催の「いのちの居場所こども食堂」も受講した。講師は豊島こども WAKUWAKU ネットの栗林知絵子さんで、プレイパークや無料学習室を運営している「こども食堂」のエキスパートだった。かつしかこども食堂ネットのこども食堂運営者もパネリストして意見を述べていたので、実践的に学ぶことができた。

2月は、新聞1面トップで報道されていたのは、やはり新型コロナウイルス肺炎のことだった。産経新聞2月16日の総合面では、「130国・地域が入国制限 新型肺炎」「中国、見直し求め外交攻勢」の見出しで報じていた。また、2月18日の総合面では、「医療機関パンクを懸念」の見出しで、「感染経路が不明な新型コロナウイルスによる肺炎患者の報告が相次ぎ、不安が高まっているが、感染しても健康な人ならば軽い症状で済む場合が多い」と報じ、「限られた医療資源を有効活用するには過剰に反応せず、【正しく恐れる】ことが重要」と記されている。しかし、2月22日の新聞には、1面で「児童2名と未就学児感染 新型肺炎北海道と埼玉」と報じられた。北海道では、10歳未満と10代の小学生の兄弟の感染である。子どもの新型肺炎の感染は、軽症ともいわれるが、新たな段階に入ったと見られる。一日も早く終息を願う。(2月23日)

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2019年12月29日

積極的にポイ捨てしようという逆説

現実、ポイ捨てゴミが結構多くて無くなりそうな気配もないので、一回、逆に考えてみようと思いました。

以前、奈良県吉野の桜が有名なので見に行ったのですが、屋台の団子か何だったかを食べたときに串を捨てようと思って、店にどこに捨てたらよいか聞いたら、「その辺に捨てといて。」と言われ、その時は「いけない事なんじゃないか？」と思ったのですが、後々考えてみると吉野は杉の産地で、割りばしの産地でもあり、その串も杉でできていたので、店の人から見たら、「その辺に生えていたものを土に返す」という考えだったのかも知れないと気が付きました。

また、電線の下の植え込みに、小さな木がよく生えていて、鳥が木の実を食べた後、種ごとフンをしたのだと思いますが、鳥にとっては、食べられる実がなる木を増やしている事になり、鳥と木の双方にとって得がある事をしていて、「いいことをしてるなあ。」と思いました。

きっと人間も木の実を食べたりして、ポイ捨てすることによって種が落ち、住んでいる近くで食べ物が増えたりする恩恵があったりした時代があったのだと思います。そう考えるとポイ捨てすることによって利益を得てきたことが生物的に刷り込まれていて、「やめることはできないのではないか？」と感じました。

昔はゴミとして出るものが少なかったと聞いたことがあります。

私を感じたことは、ポイ捨てして得をするもの、すべきものが過去にあった。そういうものを捨てれば問題はなくなるのだと思いました。

※個人の感想です。不法投棄は犯罪です。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2020年 1月 3日

星と夜景の話。

新年あけましておめでとうございます。

正月、東京では星がいつもよりキレイに見えるので、夜空を見に行きました。いつもは見られない星も見えましたが、近県で正月にもっと星がキレイに見えた経験があったので、「都内だし、まあ、これだけ見えれば上出来だな。」と見ていました。

星を少し見た後で、ふとビルの方を見ると、何やら、いつもと違います。

「！？・・・ビルの夜景が4Kみたいに鮮やかに見える！！」

店先で4KのTVで映像を見ても、「自動で美肌に見せたり、目が大きく写る写真と同じで、カメラの力で現実より色を鮮やかにしているだけでしょ。」とっていました。デジタル地上波の映像レベルで十分だと感じていたのですが、実際に4Kレベルの景色が目の前にありました。

「もしかして空気のキレイなところの人達は4K映像の価値がわかり、東京に住んでいるとその価値に気づけないかもしれない。」と思いました。

※あくまで個人的な感想です。

※追記

令和2年3月2日現在、コロナウイルスが流行しており、人が集まらないようにしなければならない状況になり、経済活動にも影響し始め、微妙な話になってしまいました。気分を害された方がいらしたら申し訳ありません。

氏名：石鍋 壽一

町名：小菅

調査区：3

2020年2月16日



マンリョウ 令和元年12月1日 区北東部

公園内。植栽ではなさそう。正月の縁起物か何かからこぼれた種から生えたのだろうか。野生かどうか不明。



カワラヒワ 令和元年12月14日 区北東部

河川敷に毎冬群れている。

台風の影響に対する整備で木が切られるそうで、来年は見る機会が減るかもしれない。



ツグミ 令和元年12月28日 区北東部

去年は観察された時期も遅く少なかったが、今年はよく見られる。一昨年よりは少ない（1ヶ所に8羽いた時もあった）。



ホシハジロ 令和2年1月13日 区北東部



カルガモとアイビー 令和2年1月13日

区北東部

ツタに見えるが外来種のアイビー。常緑で冬も枯れない（品種もある？）らしい。

自然観察レポート 12・1・2月の巻 調査区5 佐々木定治

令和元年終わりの月明かり



12月12日 水元1丁目 コールドムーン



水元3丁目 ホトトギス



水元3丁目 サザンカ



1月19日水元公園 カルガモ



1月19日 水元公園 スイセン
水元公園近くの民家前 アロエ↓



令和元年の年の暮れの12月12日、この年の最終の「満月」のお目見えでした。水元スポーツセンターの公園を背にして写真撮影をしました。街の灯りを伴っての「コールドムーン」！
暖冬と言われての冬の到来に何ともひとしきりの、不安を感じます。この季節になっても「ホトトギス」の花が咲いていました。この花は夏から秋の花なのですが、近ごろは12月も季節は秋なのでしょうか？

年明けの1月19日に水元公園に出かけました。水辺には、冬の水鳥が優雅に泳いでいました。そして船盛仕立ての「パンジー」が菖蒲田を背景に早春の趣を漂わせていました。

手を加えない丸ごと自然もいいのですが、丹精込めた人の心を添えた美しさもありがたいものです。燃えるような「アロエ」も民家になじんでいました。

初春の香・色彩・霜



1月19日水元公園 パンジー



1月30日 水元3丁目フキノトウ↑



ヘビイチゴ



1月30日 水元3丁目 カマキリ
ナノハナ↓



2月4日 水元3丁目コウバイ

ボケ ↓

2月5日スノードロップ↓



2月7日 霜柱↓



1月も終わりの30日に「カマキリ」の卵(卵鞘)を見つけました。外見は味噌汁に入れる麩のように見えます。この卵鞘は、断熱効果があります。秋が過ぎ冬近くになるころに、こうして命のつながりをここに宿しているのです。ちなみにこの命は「ユキヤナギ」に密着していました。春告げの「フキノトウ」や「ナノハナ」「コウバイ」「スノードロップ」は色彩もさることながら、その香りも感動そのものです。

立春が過ぎてから数日の零下の朝に出会いました。2月7日は水元でも-2℃程の寒い朝を迎えました。思わず「霜柱」を見つけカメラを向けてしまいました。自然の織り成す造形は何とも不思議な作品です。寒さの中での「黄色・赤・白・緑」と空の「青」の対比はこの季節特有な情景です。これからも季節を楽しみながら自然の観察を継続していきます。

氏名	K・N		町名	東金町		調査区	5	
自分で指定（観察地内の植物と昆虫・指定種中心）鳥類は大橋周囲～小合溜を観察								
令和	セイヨウタンポポ	シロツメグサ	その他の花	コサギ	アオサギ	カモメ	カモ類	
1年12/10	4	7	0	0	1	50	350	
2年1/10	5	0	0	1	1	20	430	
2/12	1	0	0	0	1	26	160	

1. 小合溜周囲の野鳥情報 *鳥類*

1月10日 カメラマン多数一枚とるが、種は？

2月12日 野鳥類の陸上遠足は3種類が仲良く餌を食べていた



2. 植物情報

1月2日東金町～江戸川の土手・帝釈天の初参りをした。土手は春の花が沢山咲いていた。



3. 観察地の西洋タンポポの数値を過去の数値と比較してみた（平成H・令和R）温暖化傾向と冬の西洋タンポポの花数の変化はあるか？過去の数値と比較してみた。だが、平成26年が一番多い。翌年（27年）土手の工事を実施、花数に土壌の一部が変化の影響ありか。外気温の変化との関係はあいまいとなった。

風景 ・ 香取神社の初参り

	平成	H	H	H	H	令和	R
	26	27	28	29	30	1	2
12月	12	12	2	2	0	12	4
1月	18	7	15	0	0	0	5
2月	5	11	10	1	1	2	1



氏名	大杉正孝	町名	西水元	調査区	5
主な観察場所	中川左岸西水元水辺の公園～常磐線陸橋。区内の庭				
得意分野	野鳥及び植物		2020,1	レポート no47	

今冬はユリカモメが多いなァー

中川の冬は渡り鳥が主役。カモ類が川面を動きまわり、カワウが潜って彼方から首を出す。その上空をユリカモメが舞う。この景色が素晴らしい。今年はユリカモメが目立つ。二本の太い水道管橋に約 200 羽のユリカモメ、急いでカメラに納めた。



西水元水辺の公園にユリカモメが

草が短くカットされている場所に多くのユリカモメが。普段は犬の散歩コースなのでこんな風景は見たことがない。公園の景色を変えてくれた。一つ楽しみが増えた。



氏名	大杉正孝	町名	西水元	調査区	5
主な観察場所	中川左岸西水元水辺の公園～常磐線陸橋。区内の庭				
得意分野	野鳥及び植物	2020,2	レポート no48		

カモ達も元気ですよ、中川の冬景色

2月の月上旬、中川の水面にカモ類 70～80羽が浮かんでいましたが、突然飛び立ちました。たまたまカメラを構えていた私は直ぐにシャッターを、飛び立つ直後。スマホのカメラですが、望遠の高いカメラなら素晴らしい姿を捉えられたカモ。



今年のカルガモ、マガモ、カイツブリ等は例年よりやや少ないと思われます。多い年は100羽程の群れが2～3軍団がみられました。今年は2羽のつがい？がバラバラに浮遊している景色が多いようです。

土手にはムクドリやスズメが

中川の傾斜の土手には草の種や虫を集団で獲る姿がみられます。私が近づくと直ぐに飛び立ち移動します。別に悪いことはしないよ。ちょっと見たいだけ。

季節の写真集 (12月~2月)



「オオタカ」 2月
場所：水元公園 金魚展示場付近
名前：高橋 雅子さん



「チョウゲンボウ」
12/1
場所：区北東部
名前：石鍋 壽一さん

「実り」 12/24
場所：白鳥
名前：Rさん



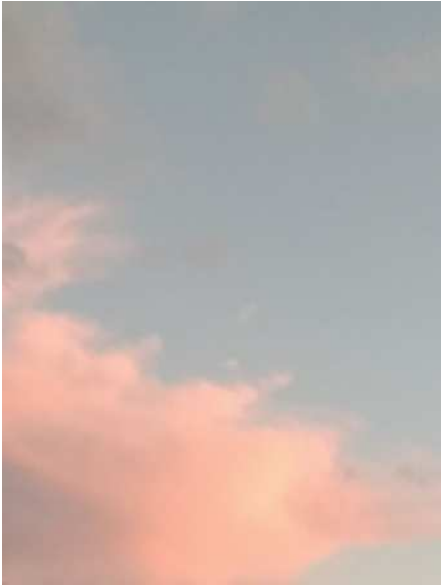
「紅葉」 12/11
場所：白鳥
名前：RYUさん

「冬晴れ」
1/29 場所：水元
名前：RYUさん





「スイセン」 1/2 場所：区北東部
名前：石鍋 壽一さん



「夕空」 1/29 場所：水元
名前：Rさん



「いい香り」 2/29
場所：お花茶屋
名前：RYUさん



「フキノトウ」 1/30
場所：水元3丁目
名前：佐々木 定治さん

「ツタバウンラン」
2/1 場所：区北東部
名前：石鍋 壽一さん



「じか咲き」 2/18
場所：上千葉公園 名前：Rさん

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-269

調査回数 調査日 地点		271			備 考
		2019/12/14			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	1 35			
2	オ イ カ ワ	1 103			
3	カ ダ ヤ シ		10 21-33	30 15-27	特定外来生物
4	ギ ン ブ ナ		6 28-64		
5	コ イ		1 100		
6	ス ゴ モ ロ コ	2 53-86			
7	タイリクバラタナゴ		14 14-26		
8	デ メ モ ロ コ	2 45-63			
9	ド ジ ョ ウ		1 54		
10	ニ ゴ イ	4 84-102			
11	ヌ マ チ チ ブ	3 28-51			
12	ハ ス	2 80-99			
13	ボ ラ	1 154			
14	メ ダ カ		3 22-23	2 24-28	
15	モ ツ ゴ		4 28-37		
計		8種類16個体	7種類39個体	2種類32個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて15種類87個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴、気温14.7℃、水温 本流10.2℃、新八水路12.8℃、新八ワンド10.6℃（15時頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 水位はやや低かったが、手網ではあまり採れなかった。やはり寒い季節は深い場所に移動するのだろうか？しかし投網陣の頑張りで、この時期にしてはかなりの魚種が採れた。たまたま某県の水産試験場職員の方が立ち寄った。旧知の仲で、魚や魚道の話で盛り上がった。（YK）
- ・ 水がとても冷たく、手がかじかんで網を持つ手が凍りつきそうになりながらも、寒い中で魚はどこにいるのか考えながら投網を投げていた。すると、午前6匹、午後2匹、遊泳魚も含めて5種類を捕まえられた。魚の気持ちになって考えることが大切だと痛感した。昼に食べたお味噌汁が温かくて美味しかった。カイロや温かい食べ物で頑張れた。寒い川との戦いの1日でした。（AN）
- ・ 前日の夕方、調査の昼食時の味噌汁作りを思い出し、当日朝に具材などを準備した。参加者の二倍以上の量の具沢山味噌汁が出来上がったが、調査終了時には鍋は空っぽになった。（SI）

【今後の調査日】2020年 1月25日（土） 2月23日（日） 3月28日（土）

HP（<http://shigenoril.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-270

調査回数 調査日 地点		272			備 考
		2020/1/25			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	1 30			
2	カ ダ ヤ シ		15 15-44	11 19-25	特定外来生物
3	タイリクバラタナゴ		4 18-48	5 13-16	
4	ヌ マ チ チ ブ	30 45-54			
5	メ ダ カ		19 19-31	37 12-25	
計		2種類4個体	3種類38個体	3種類53個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて5種類95個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り時々晴れ、気温10.3℃、水温 本流8.0℃、新八水路9.4℃、新八ワンド8.8℃（15時頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 水中も冷たく、水位がとても高い中での調査だったので、魚も少なく普段に増して、大変な調査だった。
魚も全然かからず、この時期の魚も人と同じようにすみかに隠れているのかなと思った。
私は浅瀬の方でモクズガニを捕まえた。魚は捕まえられなかったが、普段あまり見たことが無かったカニを捕まえて嬉しかった。（AN）
- ・ 去年の台風で大きな木が倒れたり土手がえぐられたりして岸際の風景が変わり、川底の状況が変わった。その上、水位が高かったので、採取作業は困難を極めた。（SI）

【今後の調査日】 2月23日（日） 3月28日（土） 4月12日（日） 5月16日（土）
6月20日（土） 7月4日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-271

調査回数 調査日 地点		273			備 考
		2020/2/23			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	4 27-42			
2	オ イ カ ワ	3 60-77			
3	カ ダ ヤ シ		32 13-33	37 16-31	特定外来生物
4	ギ ン ブ ナ		9 34-53		
5	サ ケ	3 47-54			
6	タイリクバラタナゴ		22 12-27		
7	デ メ モ ロ コ	19 44-98			
8	ヌ マ チ チ ブ	15 24-59			
9	メ ダ カ		146 16-33	7 19-26	
10	モ ツ ゴ		6 25-37		
計		5種類44個体	5種類215個体	2種類44個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて10種類303個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温14.8℃、水温 本流12.0℃、新八水路14.1℃、新八ワンド14.0℃（14:30頃測定）

【参加者コメント】

- ・ 午後の強風の中、人手が少なく、片付け、測定は手の空いた人が総掛かりでやりました。人は必要にかられると、すぐに魚の同定ができるように。今年もサケが出現しました。網目を抜けますが、流れのないところに群れていたようです。水路の物陰で、カエルらしき声がしていました。卵も産みつけられていました。春も間近のようです。（K1）
- ・ 久々に参加でき、とても嬉しかったです！またよろしくお願いします。（M0）
- ・ 水位は先月よりは低く苦にならなかったが、北風が吹き荒れて、川の中も陸上も怖いくらいだった。高学年の小学生男子がおばあちゃんと一緒に来てくれたが、今後も来てくれるか心配。（S1）

【今後の調査日】 3月28日（土） 4月12日（日） 5月16日（土） 6月20日（土） 7月4日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>） 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚類出現状況

No.	標準和名\地点	1-48		49-106		107-163		164-223		224-235		236-247		248~259			260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273																							
		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程			調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程		調査回数 回数・日程																								
		本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八	本流	新八																						
1	イセゴイ	●	○	○	○	○	○	○	○																																												
2	ウナギ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
3	ワカサギ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
4	アユ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
5	サケ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
6	タモロコ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
7	スゴモロコ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
8	デメモロコ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
9	ヒガイ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
10	ニゴイ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
11	カマツカ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
12	ツチフキ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
13	モツゴ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
14	マルタ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
15	ウグイ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
16	オйкаワ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
17	ハラス	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
18	ワカタ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
19	ハクレン	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
20	キンブナ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
21	ギンブナ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
22	ゲンゴロウブナ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
23	フナ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
24	キンギョ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
25	コイとフナの雑種	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
26	ヤリタナゴ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
27	イチモンジタナゴ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
28	アカヒレタビラ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
29	タイリクバラタナゴ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
30	ドジョウ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
31	カラドジョウ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
32	アメリカナマス	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
33	ナマス	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
34	クルマサヨリ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
35	メダカ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
36	カダヤシ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
37	ボラ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
38	メダナ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
39	カムルチ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
40	スズキ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
41	オクチバス	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
42	コクチバス	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
43	ブルーギル	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
44	シマイサキ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
45	ヒイラギ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
46	ヌマチチブ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
47	チチブ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
48	シモフリシマハゼ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
49	ゴクラクハゼ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
50	クロダハゼ(※)	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
51	ヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
52	ビリンゴ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
53	ウキゴリ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
54	スミウキゴリ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
55	ウキゴリ(型不明)	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
56	マハゼ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
57	アシシロハゼ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
58	ヒナハゼ	○	○	○	○	○	○	○	○																																												
地点種類数合計		42	36	40	30	39	27	28	41	23	27	31	11	12	29	11	10	12	10	2	0	12	2	2	10	2	4	10	6	2	14	3	1	9	5	2	7	3	2	11	0	0	9	7	2	8	7	2	2	3	3	5	2

●・初採取 ※: 和名がヨシノボリ(橙色型)からクロダハゼに変わりました。

環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237 (直通)

「かつしか環境・緑化フェア2020」 当日ボランティア募集



令和2年6月14日(日)に「かつしか環境・緑化フェア2020」を開催いたします。

前号で、パネル展示作成ボランティアの募集をしましたところ、6名の方が引き受けて下さいました。ありがとうございます。

つきましては、「かつしか環境・緑化フェア2020」当日、お手伝いをしていただける方を募集いたします。役割といたしましては、クイズの用紙渡し、答えていただいた方に景品と答えを渡していただきます。

1日はちょっと…という方は、半日(午前・午後)でも、1~2時間でも結構です。皆さんで協力すれば少しの時間で交代ができますので、ぜひ当日のお手伝いをお願いいたします。

また、当日は色々なブースに分かれての出店をしておりますので、是非お立ち寄りください♪

※現時点では行う予定ですが、今後の情勢により変更となる場合がございます。

3月7日の自然観察会は、新型コロナウイルス等の感染症拡大防止のため、残念ながら中止とさせていただきました。今後も研修会を予定しております。みなさまのご参加お待ちしております。



～春号でご協力いただいたみなさま～

荒井敏夫さん、Rさん、新井正樹さん、石鍋壽一さん、
江良ヒデ子さん、大杉正孝さん、K. Nさん、佐々木定治さん、
散歩の花子さん、高橋雅子さん、田村ひろ子さん、T. Kさん、
藤並剛さん、森本龍司さん、弥生さくら草さん、ゆきひめさん、
RYUさん、自主生物調査団(編集:一澤成典さん)

ご協力ありがとうございました☆彡

「水辺のふるさとかつしか」第312号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第264号)

令和2年3月31日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。